

【】平安京と東アジアの変化

【】桓武天皇

[平安京]

[問題]

平安京に都を移し、政治を立て直そうとした天皇はだれか。

(香川県)

[解答欄]

[解答]桓武天皇

[解説]

奈良時代の後半には、貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり、政治が混乱した。

そこで、桓武天皇は、新しい都で政治を立て直そうと

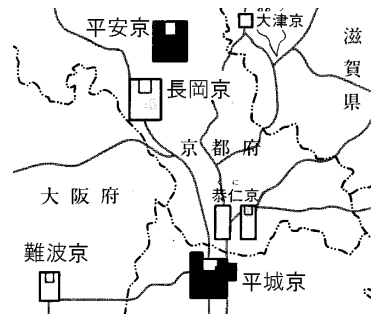
して、784年に都を長岡京に移し、ついで794年に都を平安京(今の京都市)に移した。そのさい、仏教の勢力が政治と結びつくのをきらい、奈良にある寺が平安京に移ることを禁じた。(鳴くよ(794)ウグイス平安京)

794年から1185年に鎌倉幕府が成立するまでの約400年間を平安時代という。

[平安京]

桓武天皇 794年

貴族や僧の間の勢力争いで政治が混乱したため



[問題]

貴族や僧の勢力争いで乱れた政治を立て直すため、794年に()京へ都を移した。

(山梨県)

[解答欄]

[解答]平安

[問題]

都が平城京から新しい地に移されたとき、寺院は移されずにそのまま残された。それはなぜか。その理由を、「僧」の語句を用いて簡潔に書け。

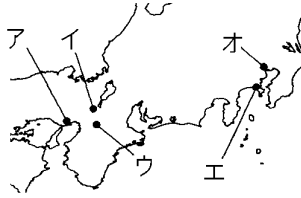
(奈良県)

[解答欄]

[解答]僧が政治を混乱させたから。

[問題]

平安京の位置を、次の地図中のア～オから1つ選んで記号で答えよ。



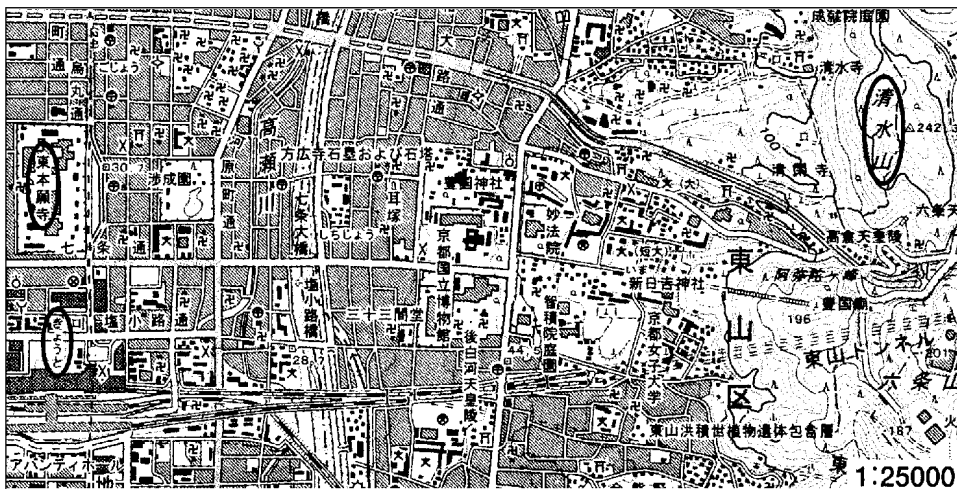
(鳥取県)

[解答欄]

[解答]イ

[問題]

平安時代に都のあった京都市の街のつくりは、唐の都の長安にならってつくられたなごりを残している。それはどのようなことからわかるか。下の地図から読み取れることを簡潔に書け。



(宮崎県)

[解答欄]

[解答]道路が碁盤の目状につくられていることから読み取れる。

[解説]

平城京へいじょうきょうと同様に、平安京へいあんきょうも、中国の唐の都である長安ちょうあんを手本としてつくられた。道路が碁盤ごばんの目状につくられているのは長安の影響である。

[問題]

平安時代は約(100 / 200 / 300 / 400)年間続いた。()内より適切な数字を選べ。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]400

[蝦夷の征服]

[問題]

次の文の , の()内より適語を選べ。

平安時代の初期に朝廷は、東北地方の支配に力を入れ、坂上田村麻呂を (太政大臣 / 征夷大將軍)に任命し、東北地方の蝦夷の拠点を攻撃した。これに対して、蝦夷は (シヤクシャイン / アテルイ)などをリーダーに団結して抵抗した。

(熊本県)

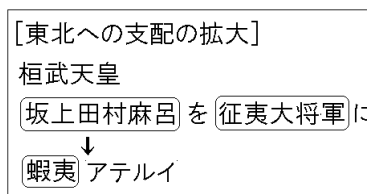
[解答欄]

--	--

[解答] 征夷大將軍 アテルイ

[解説]

奈良時代のころ、律令りつりょう国家の支配が及んだのは関東地方までであった。東北地方に住む人々は、朝廷から異種の文化をもつ異民族いみんぞくあつかいにされ、蝦夷と呼ばれた。朝廷はしだいに東北地方への支配を拡大していったが、これに対し蝦夷の人々は、アテルイ



イを指導者として激しく抵抗した。桓武天皇さかのうえのたむらまるは、797年に坂上田村麻呂を征夷大將軍せいいたいしやうぐんに任命して、大軍を送ってアテルイの軍を降伏こうふくさせ、支配を拡大させた。

[問題]

桓武天皇は、朝廷の支配に抵抗する蝦夷を討つために、坂上田村麻呂をある官職に任命した。その官職を何というか。

(石川県)

[解答欄]

[解答]征夷大將軍

[問題]

平安時代の初めに、征夷大將軍として、蝦夷と戦い律令国家の勢力を広げた人物はだれか。その名前を書け。

(新潟県)

[解答欄]

[解答]坂上田村麻呂

[問題]

胆沢城や志波城が坂上田村麻呂によって築かれ東北地方に対する朝廷の勢力が広まった。このときの天皇はだれか、次から 1 人選べ。

[推古天皇 天智天皇 聖武天皇 桓武天皇]

(秋田県)

[解答欄]

[解答]桓武天皇

[問題]

桓武天皇の時代、九州地方の政治と外交や防衛の中心となった役所を何というか。

(福井県)

[解答欄]

[解答]太宰府

[空海と最澄]

[問題]

遣唐使とともに唐へわたって仏教を学び、帰国後、真言宗を広めた人物は誰か。

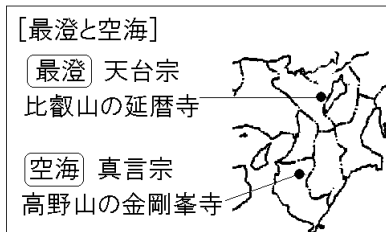
(京都府)

[解答欄]

[解答]空海

[解説]

奈良時代に仏教が政治と結びついて腐敗したため、桓武天皇は僧侶の資格を厳しくするなどして、それをあらためようとした。これに応じて仏教界にも改革の動きが起こった。最澄と空海は、教典の研究を中心とする奈良仏教にあきたらず、仏教の本来のあり方を求めて修行を重ね、遣唐使



にしたがって唐にわたった。帰国後、最澄は比叡山に延暦寺(滋賀県・京都府)を建てて天台宗を、空海は高野山に金剛峯寺(和歌山県)を建てて真言宗を開いた。いずれも、人はなれた山奥の寺で学問や厳しい修行を行った。やがてこの新しい仏教は、願いをかなえるための祈りや儀式、まじないによって、おもに貴族に重んじられた。

[問題]

高野山には、金剛峯寺がある。この寺は、唐で新しい仏教を学んだ()が、帰国後、真言宗を広めるために建てたものである。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]空海

[問題]

平安京に都が移ると、仏教にも新しい動きが起こり、最澄は天台宗を、空海は()宗をそれぞれ広めた。

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]真言

[問題]

平安時代の僧()は、中国で天台宗を学び日本に広めた。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]最澄

[問題]

比叡山延暦寺のもとを築いた最澄は、唐で仏教を学んだ。唐が栄えたころ、現在のシアンにあった唐の都は、周辺の諸国から商人や留学生、留学僧が多く集まる国際色豊かな都市であった。その唐の都の名を書け。

(大阪府)

[解答欄]

[解答]長安

[問題]

平安時代に真言宗が開かれたが、当時の真言宗に関することがらとして正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 宋から伝えられたもので、広く武士の間に受け入れられた。

イ 極楽浄土に生まれかわることを願う人々に広く受け入れられた。

ウ 念仏をとこなえるだけで救われるとする教えは、おもに庶民の信仰を集めた。

エ 願いをかなえるための祈りや儀式、まじないによって、おもに貴族に重んじられた。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

アは鎌倉時代の^{ぜんしゅう}禅宗。イは平安後期の^{じょうどきょう}浄土教。ウは鎌倉時代の浄土宗。

[問題]

次のア～エのうち、空海が伝えた宗派が当時の社会にどのように受け入れられたか、その様子として適切なものを1つ選び、記号を書け。

ア 念仏をとなえるだけで極楽浄土に生まれかわるとするもので、庶民にも広まった。

イ 座禅により自分の力でさとりを開こうとするもので、武士の心をとらえた。

ウ いのりやまじないなどによって病気やわざわいを取り除こうとするもので、貴族社会に深く根を下ろした。

エ 仏教の力で国を守り不安を取り除こうとするもので、都に東大寺が建てられ地方には国ごとに国分寺と国分尼寺が建てられるようになった。

(富山県)

[解答欄]

[解答]ウ

【】東アジアの変化

[問題]

次の文の 〇 に適語を入れ, 〇 は()内より適語を選べ。

9 世紀に唐の勢力は急速におとろえた。894 年に遣唐使に任命された()は, 唐のおとろえと往復の危険を理由に遣唐使の停止をうたえて認められ, これ以降遣唐使は派遣されなかった。唐は 10 世紀のはじめにほろび, 小国の分立を経て, (漢 / 隋 / 宋) が中国を統一した。同じころ朝鮮半島には (高麗 / 百済 / 新羅) がおこった。これらの国との公式な交流はなかったが, 商人たちが日本に文物をもたらした。

(補充問題)

[解答欄]

--	--	--

[解答] 菅原道真 宋 高麗

[解説]

7 世紀の初めに隋にかわって中国を統一した唐は, その後, 発展をとげた。日本は遣唐使を通じてその文化や政治制度を取り入れた。しかし, 9 世紀後半には唐の勢力がおとろえ, もうそれ以上学び取るべきものは少なくなっていた。また, 当時の船は平底で横波に極端に弱かったため,

嵐にあつて遭難する確率が非常に高かった。

遣唐使に任命された菅原道真は, 894 年, 唐のおとろえと往復の危険を理由に遣唐使停止の建白を出して承認された。(白紙(894)

に返せ遣唐使) 菅原道真は, 藤原氏をおさ

えるために天皇によって引き立てられた人であるが, その

後, 藤原氏の陰謀によって太宰府(福岡県)に左遷された。

中国では, 唐が 10 世紀の初めに滅び, 数十年の内乱の後, 10 世紀後半に宋が国内を統一した。朝鮮半島では 10 世紀の初めに高麗がおこり, やがて新羅をほろぼした。日本は宋や高麗とは正式な国交を結ばなかったが, 両国の商人が交易を行った。

[東アジアの変化と遣唐使の停止]

894年 遣唐使の停止 ← 菅原道真

907年 唐が滅ぶ

936年 高麗が朝鮮半島を統一

960年 宋がおこる



[11世紀の東アジア]



[問題]

遣唐使の停止を提案した人物はだれか。次の[]から選べ。

[菅原道真 藤原純友 平清盛 坂上田村麻呂]

(香川県)

[解答欄]

[解答]菅原道真

[問題]

日本が遣唐使を停止した最も大きな理由は何か，簡潔に書け。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]唐がおとろえて，それ以上学ぶべきものが少なくなったから。

[問題]

9～10世紀ごろの中国のようすについて述べたものを，次のア～エから1つ選べ。

ア 清が成立し支配領域を広げた。

イ 漢が領土を広げ，西方との交通路も開かれた。

ウ 秦が中国を統一し，政治のしくみを整えた。

エ 唐の国内が乱れ，勢力が急速に衰えていった。

(富山県)

[解答欄]

[解答]エ

【】 摂関政治と国風文化

【】 摂関政治

[藤原氏の摂関政治]

[問題]

藤原道長の一族は、自分の娘を天皇のきさきとし、天皇が幼いときだけでなく、成人したあとも政治の実権を握った。このような政治のしくみを何というか、漢字で書け。

(富山県)

[解答欄]

[解答] 摂関政治

[解説]

他の貴族^{きそく}をしりぞけて勢力をのばした藤原氏^{ふじわらし}は、9世紀後半には、天皇が幼いときは摂政^{せつしょう}、成人してからは関白^{かんぱく}の職につき、政治の実権をにぎるようになった。

これを摂関政治^{せつかんせいじ}という。

藤原氏は11世紀ころ、藤原道長^{ふじわらのみちなが}とその子藤原頼通^{ふじわらのよりみち}の

時代に全盛期^{ぜんせいき}を迎えた。藤原道長は4人の娘をつぎつぎに皇后や皇太子妃とし、30年にわたって権勢^{けんせい}をふるった。(威令^{いれいひろ}広(1016)まる道長さん) その子藤原頼通は3天皇50年間にわたって摂政・関白をつとめた。藤原頼通は、浄土信仰^{じょうどしんこう}の影響を受けて、宇治に平等院鳳凰堂^{びやうどういんほうおうどう}をつくった。

[藤原氏の 摂関政治]

天皇が幼いときは 摂政

天皇が成人すると 関白

11世紀 最盛期 藤原道長・藤原頼通

[問題]

藤原氏は娘を天皇のきさきにし、その子を天皇に立て、天皇が幼いときは摂政、成人したのちは()という職について政治を動かした。文中の()内に入れる適語を答えよ。

(茨城県)

[解答欄]

[解答] 関白

[問題]

藤原氏は、天皇が幼少のときには、ある職について政治の実権を握っていた。その職を何というか。

(山形県)

[解答欄]

[解答]摂政

[問題]

藤原道長とその子頼通のときに最もさかんであった政治のしくみについて、「天皇」「関白」の2つのことばを用いて書け。

(岡山県)

[解答欄]

[解答]天皇が幼いときは摂政，成長すると関白の職について，政治の実権をにぎり，天皇にかわって政治を動かす摂関政治であった。

[問題]

摂関政治が行われたのは何時代か。

(徳島県)

[解答欄]

[解答]平安時代

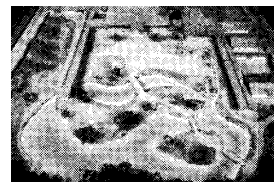
[問題]

右図は東三条殿という寝殿造の邸宅を復元した模型である。東三条殿は、摂政や関白などの地位について権力をもっていた貴族の邸宅であるが、その貴族とは何氏か。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]藤原氏



[問題]

平安時代，都に住んで，天皇とともに政治・文化の中心となっていたのはどんな身分の人々か。

(福井県)

[解答欄]

[解答]貴族

[藤原氏の勢力拡張方法]

[問題]

藤原道長をはじめとする藤原氏は，どのような方法で，政治的な権力を獲得したのか。説明せよ。

(佐賀県)

[解答欄]

[解答]娘を天皇のきさきにし，その子を次の天皇に立てることで勢力をのばした。

[解説]

藤原氏は他の貴族をしりぞけて次第に権力をにぎっていったが，その秘訣は，自分の娘を天皇のきさきとすることであった。娘を天皇のきさきにし，その子を次の天皇に立てることで勢力

[藤原氏の勢力拡張方法]

娘を天皇のきさきにし，その子を次の天皇に立てることで勢力をのばした。

をのばした。藤原氏の全盛時代を築いた藤原道長は4人の娘をつぎつぎに皇后や皇太子妃として，30年にわたって朝廷内で大きな権勢をふるった。

当時の貴族社会では，子供は母方の家で育てられる習慣であった。天皇と藤原道長(など)の娘であるきさきとの間に生まれた男の子(将来の天皇)は，きさきの実家である藤原道長のもとで育てられたので，おじいさんである藤原道長は将来の天皇になるこの男の子にとって身近な存在となった。幼くして即位した場合，藤原道長がその後見役(摂政)になるのは自然の成り行きである。

[問題]

「この世をば わが世とぞ思ふ もち月の かけたることも なしと思へば」という歌をよんだ人物を次から選べ。

[藤原鎌足 菅原道真 藤原道長 平清盛]

(秋田県)

[解答欄]

[解答]藤原道長

[解説]

道長は、娘の一人を天皇のきさきとすることに成功したとき、自分の権勢が絶頂期にあるうれしさを「この世をばわが世とぞ思う 望月の かけたることも 無しと思へば (この世は私のためにあるようなものだ。満月の欠けたところがないように私の思うようにならない事は一つも無い) 」という歌で表している。さらに、藤原道長の子である頼通は、3 天皇 50 年間にわたって摂政・関白をつとめ、我が世の栄華を楽しんだ。

[問題]

「天下の荘園はことごとく摂関家のもので、公領は錐(きり)を立てるわずかな土地ほどもないのか。悲しい世である。」(小右記より部分要約) この資料の内容と最もかわりのあるものを、次のア～エから 1 つ選び、記号を書け。

ア 聖武天皇のころの朝廷

イ 道長や頼通のころの藤原氏

ウ 清盛のころの平氏

エ 義満のころの足利氏

(長野県)

[解答欄]

[解答]イ

[荘園]

[問題]

道長・頼通のときに全盛期をむかえた藤原氏は、朝廷の役職の多くを一族で占め、国司のおくりものや所有する土地である()からの収入などで、はなやかな生活を送った。文中の()内に入れる適語を答えよ。

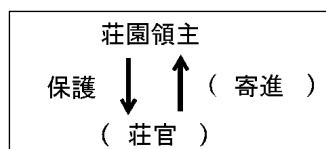
(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]荘園

[解説]

藤原氏^{はんえい}繁栄の経済的基礎は荘園^{しょうえん}という私有地であった。有力な農民の中には、土地を有力貴族や大きな寺社に寄進^{きしん}して、税の免除を受け、自分は名目上は荘官^{しょうかん}になって、有力貴族等に(税よりは少ない)年貢を納めるようになった。このようにして藤原氏へ寄進される荘園が増加し、そこから上がってくる年貢によって、はなやかでぜいたくな生活を送った。



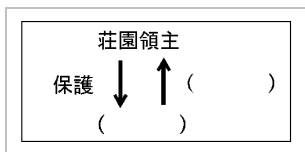
[問題]

平安時代のころ、荘園は全国的に急増した。右の図は当時の荘園制のしくみを表したものである。次の語句から、図中の()にあてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、図を完成せよ。

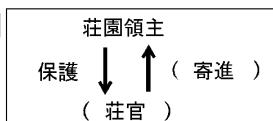
[百姓代 荘官 防人 寄進 石高 寄合]

(奈良県)

[解答欄]



[解答]



[地方政治の乱れ]

[問題]

次の文は、地方の政治を行っていた国司について述べたものである。次のア～エの中から、摂関政治が行われていたころのようすをあらわしたものとして、最も適当なものを1つ選べ。

- ア 諸国には中央から国司が派遣され、政治を行うしくみが整った。
- イ 国司の持っていた権限は守護大名によって吸収されていった。
- ウ 任地に代理を送って収入だけを得る国司が多くなった。
- エ 東大寺に大仏をつくるため、国司は必要な物資と農民を都に送った。

(福島県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

摂関政治のころの朝廷の政治は先例や儀式を重んじる形式的なものとなり、国政に関して積極的な政策をとることはほとんど見られなくなっていた。朝廷の国司への監督がおろそかになったため、国司の中には4年の任期中に不正な税の取り立てをして財を蓄える者が少なくなかった。また、任地には代理を送って、収入だけを得たりする国司が多かった。国司が暴政を行い、政治が乱れてくると、土地所有権をめぐる国司と豪族、豪族と豪族の争いがおこり、また、盗賊の横行など治安の乱れもひどくなってきた。こうした状況の中で、豪族や有力な農民は土地を守るために弓矢や刀で武装するようになり、国司の税の取り立てに対抗したり、たがいに争ったりするようになった。こうして10世紀ころに武士が発生した。

【】国風文化・浄土信仰

[国風文化]

[問題]

かな文字を使って『源氏物語』などのすぐれた文学作品が書かれた時代の文化は何とよばれているか。次から1つ選べ。

[国風文化 飛鳥文化 天平文化 桃山文化]

(大阪府)

[解答欄]

[解答]国風文化

[解説]

平安時代半ばの貴族たちは、唐風の文化をふまえながらも、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化を生み出していった。これを国風文化という。国風文化のなかで一番重要なのは、わが国独自の仮名文字が発明されたことである。それまで、文章は漢字を用いて漢文で書くか、万葉仮名

[国風文化]	
仮名文字	の発明→国文学の発達

源氏物語	紫式部
枕草子	清少納言
古今和歌集	紀貫之らが編集

のように漢字の音を借用して書き表すよりほかなかった。例えば、「から衣 すそに取りつき 泣く子を 置きてぞ来ぬや 母なしにして」という万葉集に収められている防人の歌は、もともと万葉仮名で「可良己呂武 須宗…」と書き表されるが、これは書くのも読むのも大変であった。そこで、漢字の一部をとって片仮名が作られ、万葉仮名に使われた漢字のくずし字から平仮名が作られた。平仮名はおもに女性の間で使われた。仮名文字は、それまでの漢文と違って、細やかな感情をそのまま書き表すことを容易にし、国文学の発達をもたらした。和歌の分野では、紀貫之が編集した古今和歌集、小説では紫式部の源氏物語、随筆では清少納言の枕草子が名高い。

[問題]

漢字から()がつくられるようになり、感情や心の変化をあらわしやすくなった。そして、それを使った物語や日記などのすぐれた文学作品が生まれた。文中の()に適語を入れよ。

(長野県)

[解答欄]

[解答]かな文字

[問題]

次の文の ， の()内より適語を選べ。

10～11世紀，文化の国風化が進んだ。その代表的な例としては，(漢字／かな文字)が発達し，普及した。()を用いた(源氏物語／日本書紀)などの文学作品も生まれた。

(秋田県)

[解答欄]

--	--

[解答] かな文字 源氏物語

[問題]

かな文字を用いて書かれた文学作品はどれか，[]の中からすべて選べ。

[古事記 源氏物語 枕草子 日本書紀]

(京都府)

[解答欄]

--

[解答]源氏物語，枕草子

[問題]

かな文字を使って光源氏を主人公とする長編小説を書き，藤原氏が栄えた平安時代の貴族社会を描いたのは誰か。

(鳥取県)

[解答欄]

--

[解答]紫式部

[問題]

紫式部の作品の名称を書け。

(佐賀県)

[解答欄]

--

[解答]源氏物語

[問題]

「枕草子」の作者の名を漢字で書け。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]清少納言

[問題]

平安時代の代表的和歌集は何か。

(補充問題)

[解答欄]

[解答]古今和歌集

[問題]

国風文化が最も栄えたのは、藤原氏による(摂関政治 / 建武の新政 / 院政)のころであった。文中の()内より適語を選べ。

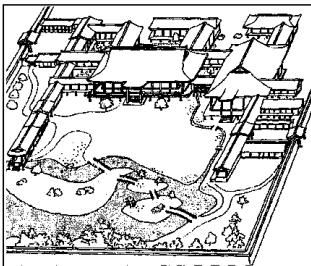
(北海道)

[解答欄]

[解答]摂関政治

[問題]

下の図に見られる住居の建築様式を書け。



(群馬県)

[解答欄]

[解答]寝殿造

[解説]

貴族たちの服装は日本風にかわり、上級貴族は、美しい自然を庭園に取り入れた寝殿造しんでんづくりの邸宅ていたくに住んだ。絵画にも日本の風景や人物が描かれるようになり、大和絵やまとえとよばれた。

[問題]

「国風文化」について説明したものを2つ選べ。

ア 「古事記」や「日本書紀」などの歴史書がつくられた。

イ 紫式部によって、「源氏物語」が書かれた。

ウ 東大寺南大門の金剛力士像がつくられた。

エ 貴族の住居として、寝殿造の邸宅が建てられた。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]イとエ

[解説]

アは奈良時代、ウは鎌倉時代の文化である。

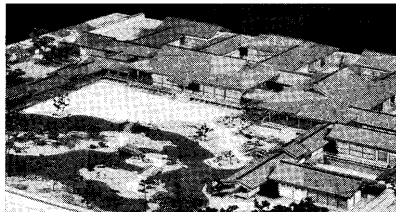
[問題]

遣唐使停止の後に日本では文化の国風化が進んだが、国風文化の特徴を示すものとして適当でないものを、次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。

ア



イ



ウ



エ



(島根県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

アは奈良時代の正倉院しょうそういんにおさめられている漆胡瓶しつこへい。イは寝殿造しんでんづくり、ウは「源氏物語絵巻」、エは「かな文字」で、国風文化の特徴を示している。

[問題]

古代の文化のおもな担い手を，1つ選んで記号を書け。

[公家や武家 天皇や貴族 武将や豪商 武士や民衆]

(秋田県)

[解答欄]

[解答]天皇や貴族

[浄土信仰]

[問題]

次の文中の ， に適語を入れよ。

10世紀半ば，念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり極楽浄土へ生まれ変わることを願う()信仰がおこり，都の貴族からしだいに地方にも広まった。藤原頼通は，宇治に右図のような()をつかった。



(補充問題)

[解答欄]

[解答] 浄土 平等院鳳凰堂

[解説]

平安時代中ごろ，盗賊の横行など社会が乱れ，地震・火災・日照り・洪水などの災害もひんぱんに起こった。このころ，シャカの死後2000年から末法の世になるという末法思想が広まり，阿弥陀如来にすがって念仏を唱えれば極楽浄土に生まれ変わることができるといふ浄土信仰が，不安をつのらせた貴族や庶民の心をとらえた。藤原頼通は，この世に極楽浄土のようすを表そうとして，宇治(現在の京都府宇治市)に寝殿造の平等院鳳凰堂(右図)を建てた。また，奥州の藤原氏は平泉に中尊寺金色堂を建てた。

[浄土信仰]

阿弥陀如来，念仏，極楽浄土

平等院鳳凰堂(宇治)：藤原頼通
中尊寺金色堂(平泉)

(平等院鳳凰堂)



[問題]

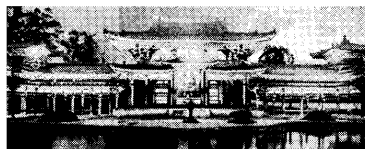
右の歴史的建造物の名称を，次から選べ。

[銀閣寺 正倉院 日光東照宮 平等院鳳凰堂]

(青森県)

[解答欄]

[解答]平等院鳳凰堂



(摂関政治全盛期の建物)

[問題]

右の建物は，阿弥陀仏にすがって，死後に極楽(X)に生まれ変わることを願う(X)信仰を背景として，藤原頼通が宇治に建立したものである。文中の X に適語を入れよ。

(岡山県)

[解答欄]

[解答]浄土



[問題]

右図は藤原頼通によって建てられた建造物である。図の建造物が建てられたころの日本のようすについて述べた文を，次のア～ウの中から 1 つ選び，記号で答えよ。



ア 禅宗などの，わかりやすく実行しやすい新しい仏教の教えが，民衆や武士の間に広まった。

イ 世の中が乱れ，極楽浄土に生まれかわることを願う浄土信仰が人々の心をとらえた。

ウ 仏教の力で国家を守ろうと考えた天皇が，国ごとに国分寺を建て，都に金銅の大仏を造った。

(静岡県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

アは鎌倉時代。ウは奈良時代。

[問題]

平等院鳳凰堂に最も関係の深い事がらを下のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 極楽浄土の教えによって建てられた。
- イ 東大寺にある建築物である。
- ウ 日本に仏教が伝わったところに建てられた。
- エ 国分寺の1つとして建てられた。

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]ア

[問題]

右の写真のような阿弥陀如来像がさかんにつくられた背景として最も適当なものを、次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。



- ア 法隆寺などの寺院が、豪族の権威を象徴するものとして建てられた。
- イ 仏教の力で国を守るため、国ごとに国分寺や国分尼寺が建てられた。
- ウ 社会不安が高まり、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰がおこった。
- エ 宋にわたった栄西や道元が、座禅によって自分の力でさとりを得ようとする禅宗を伝えた。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

12世紀ころ、平泉を中心に奥州藤原氏が栄えていた。次のうち、この奥州藤原氏が建てた建物はどれか。

[平等院鳳凰堂 中尊寺金色堂 東大寺南大門 慈照寺銀閣]

(広島県)

[解答欄]

[解答]中尊寺金色堂

[解説]

11世紀末から12世紀にかけて、東北地方の平泉^{ひらいづみ}を根拠地^{こんきょち}に奥州藤原氏^{おうしゅう}が勢力をふるった。中尊寺金色堂^{ちゅうそんじこんじきどう}は、浄土^{じょうど}へのあこがれから平泉の中尊寺につくった阿弥陀堂^{あみだどう}で、建物の各所に金ばくをほどこし、この時期の繁栄を象徴している。



[問題]

金や馬などの産物によって栄えた豪族の奥州藤原氏が、浄土へのあこがれから平泉の中尊寺につくった建物を何というか。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]中尊寺金色堂

[問題]

中尊寺金色堂の場所を、地図中のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

(山口県)

[解答欄]

[解答]イ



[問題]

中尊寺金色堂を建て、奥州平泉を中心に栄えた一族は何氏か。

(石川県)

[解答欄]

[解答]藤原氏(奥州藤原氏)

【】武士・院政 M

【】武士の発生と成長

[問題]

次の文章中の ~ に適語を入れよ。

10世紀になると、地方で大きな変化が起き、豪族が開墾した私有地を領地として広げ、国の警備に武力を発揮し勢力をのばした。都では、朝廷の武官が貴族の身边や屋敷の警備を行い、実力を認められていった。この地方の豪族と中央の武官との、婚姻や主従関係を結ぶなどの交流の中から()がおこり、()はやがて家来をまとめて()をつくるほどに成長していった。()のなかでも天皇の子孫とされる()氏と()氏のひきいる勢力が最も有力になった。(と は順不同)

(補充問題)

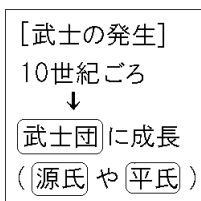
[解答欄]

--	--	--	--

[解答] 武士 武士団 源 平(と は順不同)

[解説]

摂関政治では、地方の政治は国司まかせで、本来なすべき国司への監督も怠っていた。国司は、4年の任期中に私腹を肥やすことには熱心であったが、治安の維持などの本来の職務を怠ることが多かった。このころ、荒れ地を開墾して私有地を広げるなどして、有力農民や豪族が成長していった。国司が暴政を行い、政治が乱れてくると、土地所有権をめぐる国司と豪族・有力農民、豪族・有力農民どうしの争いがおこり、また、盗賊の横行など治安の乱れもひどくなってきた。こうした状況の中で、豪族や有力な農民は土地を守るために弓矢や刀で武装するようになり、国司の税の取り立てに対抗したり、たがいに土地をめぐる争ったりするようになった。都では、朝廷の武官が貴族の身边や屋敷の警備を行い、実力を認められていった。この地方の豪族と中央の武官との、婚姻や主従関係を結ぶなどの交流の中から武士がおこった。武士は、地方では実力をもっているが、貴族からは低くあつかわれていた。そこで、天皇の子孫で源・平の姓をもつ貴族や、藤原氏の一族が国司として地方に来ると、その家来になったり、彼らと婚姻関係を結んだりして、生まれた子に源氏や平氏などの一族だと名のらせた。こうして源氏・平氏などの武士団が生まれた。



[問題]

10 世紀中ごろ，関東では()が，瀬戸内海では藤原純友が反乱をおこした。朝廷は，地方の武士の力をかりて，この 2 つの反乱をおさえることができた。

(栃木県)

[解答欄]

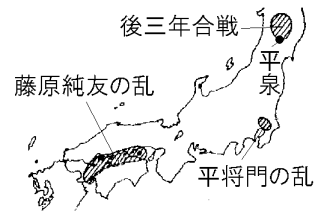
[解答]平将門

[解説]

10 世紀の半ば，東西で武士の反乱が起こった。関東では，935 年に平将門が国の役所を襲い，自ら新皇(新しい天皇)と名のり，一時期，関東地方の大半を支配した。(組み込む(935)大軍平将門の乱) また，瀬戸内では藤原純友が海賊を率いて，国の役所や太宰府をおそった。朝廷は，武士の力をかりてこの 2 つの反乱をようやくしずめることができた。

[武士の成長]	
935年	平将門の乱
939年	藤原純友の乱
1051年	前九年合戦
1083年	後三年合戦
奥州の藤原氏(平泉)	

東北では，蝦夷の子孫である阿倍氏や清原氏が力をのばしていたが，11 世紀の後半に，かれらの勢力争いで前九年合戦・後三年合戦が起こった。朝廷から派遣された源義家が，関東の武士を率いてこれをしずめたので，



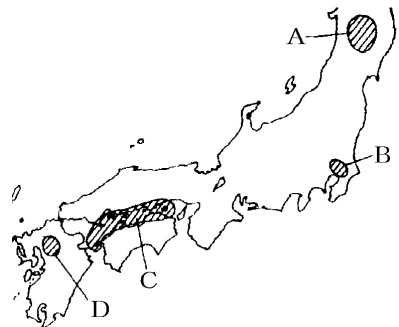
源氏の武士団は東日本で大きな勢力となっていっていった。後三年合戦以降，陸奥・出羽地方を支配したのは奥州の藤原氏であった。奥州の藤原氏は，平泉を根拠地として栄え，浄土信仰の影響を受けた中尊寺金色堂を建てた。

[問題]

次の各問いに答えよ。

- 10 世紀の中ごろ，反乱をおこし，自ら新皇(新しい天皇)と名乗ったのは誰か。また，その場所は右の地図の A～D のどこか。
- 10 世紀の中ごろ，海賊を率いて反乱をおこしたのは誰か。また，その場所は右の地図の A～D のどこか。

(補充問題)



[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 平将門, B (2) 藤原純友, C

[問題]

平将門は,まわりの武士を率いて中央政府に対して反乱をおこし,武士の力を示した。
その当時の中央政府ではどのような政治が行われていたか,次から1つ選べ。

[執権政治 院政 藩閥政治 摂関政治]

(山形県)

[解答欄]

--

[解答]摂関政治

【】院政・平清盛

[院政]

[問題]

11世紀の後半，(桓武天皇／聖武天皇／白河天皇／後三条天皇)は，位をゆずって上皇となった後も，上皇の御所である院でみずからが政治を行い，院政を始めた。文中の()内より適語を選べ。

(秋田県)

[解答欄]

[解答]白河天皇

[解説]

摂関政治の最盛期は11世紀前半～中ごろの藤原道長・藤原頼通親子の時代であったが，藤原頼通の娘には皇子が生まれなかったため，1068年に藤原氏との関係がうすい後三条天皇

[院政]

1068年 後三条天皇 即位
(藤原氏と血縁がうすい)
1086年 白河上皇 が院政を始める

が即位し，荘園の整理などを行った。その後を継いだ白河天皇は東国に勢力をもつ源氏と，西国に勢力をのばした平氏を用いて，新しい政治を行った。白河天皇は，1086年に位を若い皇子にゆずって上皇になってからも政治の実権をにぎり，藤原氏に不満をもつ下級貴族等の支持を受けて，摂政・関白をおさえて院政を行った。

上皇は税の免除などの権利を荘園にあたえたので，荘園が上皇のもとに集まった。また，寺社は，神仏の力によって政治を行った上皇に保護されたので，多くの荘園を持ち，武装する僧(僧兵)をかかえて勢力を広げていった。

[問題]

天皇が，位をゆずって上皇となったのちも政治を行うことを何というか。漢字で書け。

(福井県)

[解答欄]

[解答]院政

[保元の乱・平治の乱]

[問題]

平氏が勢力を大きくのばすきっかけとなったできごとを、次から1つ選べ。

[承久の乱 平治の乱 平将門の乱 壇ノ浦の戦い]

(秋田県)

[解答欄]

[解答]平治の乱

[解説]

白河上皇しらかわじょうこうのあとも約100年間、院政いんせいが続いた。1156年、上皇と天皇があとつぎをめぐって対立して保元の乱ほうげんが起こった。

(いいころ(1156)に起こった保元の乱)

このときに活躍した平清盛たいらのきよもりと

源義朝みなもとのよしともは、その後対立を深め、1159年、義朝が清盛を討とうとして敗れ、義朝の子頼朝よりともは伊豆いずに流された。これを平治の乱へいじという。

戦いに勝った平清盛は、1167年、武士としてはじめて太政大臣だいじょうだいじんとなり政治の実権をにぎった。(いちいち無理な(1167)清盛さん)

[保元の乱・平治の乱]

1156年 保元の乱 (天皇と上皇の対立)

1159年 平治の乱 (平清盛と源義朝の対立)

1167年 平清盛 が 太政大臣 となる

[問題]

次の年表について、後の各問いに答えよ。

年代	おもなできごと
1086年	白河上皇が院政を始める。
1156年	(ア)の乱がおこる。…A
1159年	(イ)の乱がおこる…B
1167年	平清盛が太政大臣となる。

- (1) 年表のア、イに適語を入れよ。
- (2) 次の、の文は年表中のA、Bのどちらとかがわかりが深い。それぞれ、A、Bのいずれかの記号で答えよ。

武士の棟梁同士の対立と、藤原氏一族の対立から起こった。

天皇と上皇の対立から起こった。

(補充問題)

[解答欄]

(1)ア	イ	(2)	
------	---	-----	--

[解答](1)ア 保元 イ 平治 (2) B A

[問題]

源氏と平氏がかかわった保元の乱と平治の乱をきっかけとして、政治権力の担い手があるように変化したかを説明せよ。

(福井県)

[解答欄]

[解答]武士が政治の上で大きな力をふるうようになった。

[平氏の政治]

[問題]

1167年、武士として初めて太政大臣になった()は、一族を高い位につけ、権力をふるった。また、港を整備して宋との貿易を行い、多くの利益をあげた。文中の()内に入れる適語を答えよ。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]平清盛

[解説]

たいらのきよもり ひょうご
平清盛は、兵庫の港を整備して、中国の宋との貿易を行った。清盛は、娘を天皇のきさきとし、その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった。

平氏一族で高い官職を独占し、多くの公領や莊園を支配した。そのやり方は貴族とかかわらないものであったため、貴族や寺社の反感をかい、地方の武士の中にも不満をいだける者が増えた。

[平氏の政治]

1167年 平清盛が太政大臣となる
兵庫の港を整備→宋との貿易



[問題]

平清盛は1167年、武士としてはじめて(太政大臣/摂政/大王/関白)の地位につき、中国との貿易による利益を得るため、兵庫の港(大輪田泊)を整備した。文中の()内より適語を選べ。

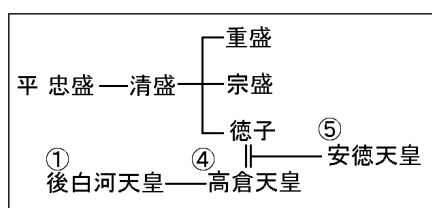
(新潟県)

[解答欄]

[解答]太政大臣

[問題]

Bさんは平清盛に関する系図をみつけた。この系図をみると、平清盛は、力をふるったとき、摂関政治を行っていたころの藤原氏とよく似たことを行ったことがわかる。それはどのようなことか。



(数字は即位順。後白河天皇と高倉天皇の間に即位した天皇は、この系図では省略しています)

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]娘を天皇のきさきにし、その子を天皇にして自分は天皇の外戚としての立場を獲得した。

[問題]

平清盛が行ったことを述べた文として、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア はじめて院政を行い、慣例やしきたりにとらわれない政治によって貴族をおさえた。
- イ 武士としてはじめて太政大臣となり、一族を朝廷の高い位につけて政治を支配した。
- ウ 御家人に裁判の基準を示すために、武家社会の慣習をまとめた御成敗式目を定めた。
- エ 建武の新政に不満な武士をまとめて兵をあげ、京都に幕府を開き守護の権限を強めた。

(宮城県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

ア：1086年、白河上皇しらかわじょうこうは上皇の御所いんせいで院政を始めた。ウ：1232年、北条泰時ほうじょうやすときは、武家社会の慣習をまとめ、裁判の基準を示した御成敗式目ごせいばいしきもくじょうえい(貞永式目)をつくった。エ：1338年、足利尊氏あしかがたかうじは京都に幕府を開いた。

[問題]

平清盛は、中国との貿易を推進するために港を整備した。それはどこの港か。次から1つ選べ。

[堺 兵庫 博多 長崎]

(奈良県)

[解答欄]

[解答]兵庫

[問題]

平安時代に、平清盛が中国との貿易を進めるために整備した港は、現在のどの港にあたるか。略地図のア～エから1つ選べ。

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]ア



[問題]

平清盛が兵庫の港を整備した理由を、当時の外国との関係から、国名を入れて、簡潔に書け。

(大分県)

[解答欄]

[解答]宋との貿易をさかんにするため。

[問題]

平清盛は兵庫の港を整え、中国のある王朝との貿易を行った。この中国の王朝は何と
いうか。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]宋

[問題]

厳島神社は、平安時代の末期に、ある一族が守護神として信仰していた神社である。
その一族について述べた文として、誤っているものはどれか、ア～エから1つ選べ。

ア 源氏とならんで有力な武士団を形成していた。

イ 兵庫の港を整え、日宋貿易を積極的に行った。

ウ 上皇となって院政を行う人物もあらわれた。

エ 多くの荘園を支配し、権勢をほこった。

(徳島県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

瀬戸内海を航行する人々の守り神をまつり、平清盛が信仰した神社で、現在は世界遺
産となっているものを何とよいか。

(石川県)

[解答欄]

[解答]厳島神社

[印刷 / 他の PDF ファイルについて]

このファイルは、FdData 入試社会(16,200 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdData 入試社会は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

FdData 入試社会・入試理科全分野の PDF ファイル、FdData 中間期末(社会・理科・数学)全分野の PDF ファイル、および製品版の購入方法は<http://www.fdttext.com/dan/> に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData2)]を、Windows のデスクトップ上にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイル(各教科約 1800 ページ以上)を自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

RunFdData 【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

ダイアログが表示されたら、【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd 教材開発 : URL <http://www.fdttext.com/dat/> Tel (092) 404-2266】